

令和5年度 第2回多文化共生施策懇話会 議事要旨

日時	令和6年2月16日(金) 18:30~20:00
場所	豊明市役所 新館1階 会議室6
出席者	委員：塚本(会長)、阿曾、長山、ホアン 事務局：松本課長、川端係長、吉田
傍聴者	0名

1. あいさつ

2. 外国人市民の窓口対応に関するヒアリング結果(資料A)

資料について事務局より説明

(委員意見)

- 転入・転出などの書類は今でも手書きなのか。自国の言語で記入してもよいのか。  
→記入しても構わない。すでに翻訳された証明書等もあるが今後も利便性の向上のために翻訳版の作成を検討していきたい。
- 外国人市民への普及啓発はどのようにしているか。  
→委員の皆様からの意見により外国人専用ダイヤル普及用カードを作成した。  
在住歴が長い方でも市ホームページの翻訳や外国版広報も知らない方が多い。他課とも連携しながら普及啓発に努める。
- 配布するチャンスはたくさんあるから上手く活用するように検討してほしい。
- ホームページのトップページなどを上手く使って情報発信をしていくのはどうか。

3. ベトナム語通訳の配置について(資料B)

資料について事務局より説明

(委員意見)

- 2月の確定申告、4月の入学などのタイミングで通訳してもらえるのは良い。通訳がいることを自分も周りに情報提供できると思う。
- 市役所の窓口業務のこと以外でも通訳してもらえるのか。  
→可能。相談や訪問業務にも対応してもらおう予定。

#### 4. 日本語ボランティア養成講座の実施について（資料C）

##### ☆ 資料について事務局より説明

##### （委員意見）

- ◆ アンケート結果から「良かった」との意見が多いと感じる。様々な意見はあるが全体的に良い講座になったのではないかと感じる。ボランティアをやりたい、いつかやってみたいとの意識があることが大事。いつかボランティアをやってくれば講座開催の意味はあったと思う。外国人への思いが変わった方もいたようなのでとても良かったと思う。
- ◆ 裾野を広げる活動は良い。
- ◆ やりたいと思うきっかけの提供が大事。
- ◆ 講座に行く意見交換ができる。様々な意見に触れることができることが魅力。
- ◆ 最終日の日本語教室の体験・見学が良い。実際に生徒（様々な国籍）と触れ合うことができたのはすごく大きい。
- ◆ 同じく最終日の体験は良いと思う。  
→昨年度から養成講座内に日本語教室の見学・体験を取入れている。教えることに対する不安などは、このような見学・体験を通じて解消できると良いと思って取り組んでいる。

#### 5. 日本語ボランティア養成講座の課題について（資料C）

##### ☆ 資料について事務局より説明

- ◆ 未経験者と経験者のスキルアップは分けた方が良い。経験者は教え方を知りたいと望んでいる。
- ◆ 養成講座を受けてない若い方が日本語教室の見学等に来ることもある。
- ◆ 学習者が少ないのはさみしい。ボランティアや学習者の中にはコミュニケーションを求めている人もいる。しかしながら、学習者にも予定がありなかなか合わないのが現状であると言える。
- ◆ 実際問題、ボランティアの参加は自由にしているが無責任になってはいけない。学習者とボランティアの先生のマッチングについてはなるべく毎回同じになるようにしているが、どうしても変わってしまうことがある。学習者のニーズに合わせてやっているが、ニーズに100%合わせるのは難しいと感じている。
- ◆ JSLのスキームをしっかりと国が浸透させる必要があるのではないかと。学習になると本当にボランティアでよいのか？との議論になる。そうこうしているうちに生活

者としての日本語に取り残される。

- ◆ 学習の成果が見えることで周りへの波及も期待できるのではないかと。やってよかったなどの経験、これを見せる工夫が大事なのでは。
- ◆ 勉強以外でのコミュニケーションから学ぶ日本語もすごく大事なことだと感じた。
- ◆ 国際交流協会の日本語教室については、これ以上手広くやるには会場が足りないのが課題。
- ◆ ボランティアが増えれば休みやすい体制も作ることができる。無理してもやらなければという雰囲気なくなるのが理想。ボランティア、学習者の双方が楽しむことを大事にしていきたい。
- ◆ 日本語学習の目的は様々。たまに参加など条件によって参加状況は変わると思う。自由に参加できる方がよい。
- ◇ 来年度は今までのボランティア養成講座のように外国人が日本語を学ぶために指導者を育成するという視点から、日本人が外国人市民をサポートするという視点に変え、サポートするためのスキルなどを身に付けてもらえる講座を実施する予定。やさしい日本語や、普段何気なく使っている日本語について改めて学んでもらう講座を実施することで、日本人の意識を変えるような講座にしていきたい。
- ◆ アンケート結果でもやさしい日本語の講座を求める声がある。
- ◆ アンケート結果は国際交流協会としても勉強となる資料になっている。

## 6. その他

- ◇ それぞれの場面で活躍している皆様から様々なご意見を頂くことができ感謝している。懇話会の場以外でも情報交換していけたらと思う。今後ともよろしくおねがいます。

次回懇話会は未定。

(日程が近くなったら調整)